

山ぼうし

第47号 平成21年 2月27日

山ぼうしは「立志の樹」といわれ、本校正門脇に植樹されており、

花も実も 蒼天に立つ 山ぼうし

の碑（初代 PTA 会長盛合聡の揮毫）がある。



基本的生活習慣の確立

校長 兼 平 栄 補

今年度、県教委では「企業等における人材ニーズや専門高校等に関するアンケート調査」を実施し、約1,000社から回答を得た（回答率約50%）。

（1）企業が専門高校生を採用するに当たって重視する点

「基本的生活習慣、言葉遣い、マナー」を6割程度の企業があげ最も多く、次いで「職業観・勤労意欲」「協調性」「積極性」「コミュニケーション能力」が3割以上となっている。

（2）高校新卒採用者に対する不満足な点

「基本的生活習慣、言葉遣い、マナー」が約5割と最も多く、次いで「積極性」「コミュニケーション能力」「職業観・勤労意欲」の順に不満足であると答えている。

（3）専門高校生が就職するまでに身に付けて欲しいこと

8割近い企業が「基本的生活習慣、言葉遣い、マナー」をあげており、次いで、「意欲・態度、勤労観・職業観」「責任感、忍耐強く取り組む態度」「協調性・コミュニケーション能力」が5割となっている。これらは、いずれも多くの企業が高卒新卒採用者に対して不満に感じている点と合致している。「専門的な知識・技能」「基礎学力や一般常識・一般教養」も3割近い企業があげている。

これらのことから、企業側が「基本的生活習慣、言葉遣い、マナー」を最重要視していることがわかるが、本校では整容指導などを含めた基本的生活習慣の確立を重点目標の一つに掲げ、企業の人材ニーズに応える努力をしている。

1月22日（木）には3年生対象に『新入社員講座』、2月5日（木）には2年生対

象に『勤労観・職業観育成講座』を、宮古市産業支援センターのコーディネーターである伊藤恒夫氏を講師として開催した。伊藤氏には、日頃から本校生徒の進路目標達成のため、また同窓生追指導などにも手厚い支援をしていただいております、大変感謝している。

特に3年生には、10項目について具体的に指導していただいたが、やはり基本的生活習慣や言葉遣い、マナーに関する内容であった。一端を紹介する。

挨拶はコミュニケーションの第一歩である。三つの「お」を大切に！

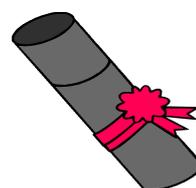
『おはようございます』、『お疲れさま』（上司など目上の人に対しては、「ご苦労さま」ではなく「お疲れさま」を使う。職場から帰宅するときも「ご苦労さまでした」ではなく「お疲れさまでした」を使う。）、『お先します』

就職すると、周りは同僚以外は目上の人ばかりとなる。そのような中で、良好なコミュニケーションを築いていくために、敬語は必要不可欠である。『職場は、上司でも同僚でも、自分をとりまく周りの方との親密なコミュニケーションで成り立っている』ということ、および『自分以外の周りの方を尊重する気持ち無くして、仕事は成り立たない』ということである。敬語は用法だけでなく敬う気持ちを学ぶことが大切である。

紙面の都合で、ここまでとするが、望ましい生活習慣は、一朝一夕には身に付かない。日々の生活の中で積極的に実践しなければならない。

3月行事予定

- 3月 1日 卒業式
- 3月 2日 代休
- 3月10日 高校入試
- 3月17日 合格発表
- 3月23日 終業式・離任式
(3月11日～22日まで自宅学習)



卒業
おめでとう

旅立ちを迎える君達に

一期一会

3 学年長・機械科3年担任 杉山元基

電気電子科3年担任 昆 和夫

卒業おめでとうございます。

君達が本校に入学してすぐに「ここを学校と思うな。3年後の新たな進路に向け自分たちを鍛える養成所だと思って欲しい」と声掛け、社会人になるための視点で育て続けてきました。また、私一人の手に負えない部分に関しては機械科職員・教科担任・クラブ顧問など数多くの先生方の協力と各自の努力の結果を得て今の君達があるのかなと思っています。

本当に先生方の気持ちを汲み、節度ある行動を取れる君達を見ると良いクラスの担任をさせてもらったと感謝の気持ちしかありません。精神力や資質を考えると既に私を越えた者も少なくないと思います。

しかし、これから君達を取り巻く環境は今までの想像を超えたものであるに違いません。こんなに頑張っているのにどうして評価してもらえないのかと苦しむ人も出てくるでしょう。先の見えない努力を続けることで鬱になる人も多い昨今ですが、苦しいときこそ本校の卒業生として頑張ったんだという自信を思い出し厳しい局面を乗り越えて欲しいと思います。

平成12年4月、私は大学を無事に卒業しましたが、前年度の教員採用試験に落ちていたので、実家に戻りアルバイト生活をしていました。1か月が経過した頃、突然母校から臨時で働かないかという打診がきました。産休に入る先生の代わりでした。後から聞いた話ですが、候補者は他にもいたそうですが、高校時代お世話になった先生方が私を推薦してくれたそうです。その後も働きながら勉強して、2年後には正式採用されましたが、その先生方には様々なアドバイスをもらいました。昔は言い争ったこともありましたが、今では良き飲み仲間です。人生には、自分の見ている出来事よりも見えていないところで動いている出来事が数多くありますが、私にとってそれを実感する出来事となりました。

暗い話題が続く世の中ですが、新しい出会いもまた待っている筈です。どんな人と出会い、その人が自分の人生にどう関わってくるのか、そんなことは分かりません。だからこそ、好きな人とか嫌いな人とか区別せず、一人一人との出会いを大切にしてください。そして感謝の気持ちを忘れずに、これからも歩んでいってください。皆さんの活躍を期待しています。卒業おめでとう。そして3年間ありがとうございました。

仲間

建築設備科3年担任 今野雅之

先日、入学当初の写真を目にしたら、一人一人がずいぶんと幼く見え、この3年間で明らかに大人びた顔つきに成長していることに気づきました。毎日のように顔を合わせていると意外に気づきにくいもので、その変貌ぶりに驚き、少し笑ってしまいました。逆に毎日のように顔を合わせていると、精神面の成長には気づき安いもので、ついでにこの間までどうなこともよくありました。

クラス替えなどない3年間でしたが、それぞれの成長に伴って、クラスの雰囲気もどんどん良くなり、団結力も増していったように

思います。3年生ぐらいになると、皆が遠慮をしない仲の良さとなり、それでいてお互いを思いやっている感じがありました。

出会いは運もありますが、結果的に人間関係を築き上げるには、自分自身の努力が必要になります。別々の中学校から、幼顔で不安を抱えながら教室の席に着いたあの頃を思えば、気が置けない仲間になっている今の友人関係が不思議に感じるとも思います。

これからも、このようなことが繰り返されていきます。でも、この高校生活を同じ空間で同じ時を過ごした仲間は特別です。人生の支えにさえなる場合もあります。卒業後もお互い連絡を取り合って、良い仲間であり続けてください。

